

用語解説

あ 行 ～ さ 行	アザレアネット (くるめ診療情報ネットワーク)	患者さんの同意のもと、診療情報を開示している病院が持つ検査、処方、画像などの診療情報を、地域の医療機関が共有することを可能とするネットワーク
	一時預かり	保護者がパート就労、緊急時、リフレッシュ等の場合に一時的にお子さんをお預かりする制度。
	ウェルビーイング (Well-being)	個人や社会のよい状態。健康と同じように日常生活の一要素であり、社会的、経済的、環境的な状況によって決定される。
	SNS (エス・エヌ・エス)	Social Networking Service (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の略称。LINE や Instagram などのインターネット上のコミュニティサイト。
	久留米広域ウェルビーイングなび	4市2町の圏域(エリア)それぞれを存分に楽しめる、たくさんの方の幸せ体験情報を掲載しているポータルサイト。
	くるめ創業ロケット	くるめ創業ロケットは、平成28年4月に開設した創業支援施設。商工団体や教育研究機関、金融機関など、産学官金の団体からなる「くるめ創業ネットワーク」や、中小企業庁が設置する「福岡県よろず支援拠点」と連携し、創業希望者・事業者をサポートしている。
	久留米広域小児救急センター	聖マリア病院内に設置され、地域医師会・久留米大学病院・聖マリア病院・久留米大学医療センターの小児科医による夜間の小児初期救急診療が実施されている。
	くるめ広域電子図書館	4市2町が共同で運用する電子図書館サービス。電子図書館は、24時間いつでもスマートフォンや自宅のパソコンから電子書籍を借りて読むことができるサービス。
	KPI (ケーピーアイ)	重要業績評価指標: Key Performance Indicator の略。目標を達成するための取組の進捗状況を定量的に測定するための指標をいう。
	国立社会保障・人口問題研究所(将来推計人口)	社会保障及び人口問題に関する調査及び研究を行うことを通じて、国民の福祉向上に貢献することを目的として設立された機関。推計人口は、国際的に標準とされる人口学的手法に基づき、人口変動要因である出生、死亡及び国際人口移動に関連する統計指標の動向を数理モデル等により将来に投影する方法で推計。
	人口動態	社会動態と自然動態を合わせた人口の動き。
	自然動態	一定期間における出生・死亡に伴う人口の動き。
	社会動態	一定期間における転入、転出及びその他の増減に伴う人口の動き。
市民活動サポートセンター	市民活動の活性化による協働のまちづくりの実現に寄与することを目的として設置。ボランティアやNPOの交流やネットワークづくりをはじめ、情報収集・発信、イベントや会議、作業の場の提供、相談への対応など、市民活動の活性化を図るための機能を整備し、活動される方の拠点として活用できる。	

た 行 ～ や 行	脱炭素	CO2をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることをいう。
	たまがる大道芸	中心市街地と久留米シティプラザを舞台にした一流大道芸人のパフォーマンスフェスティバル。
	地域子育て支援センター	地域の子育て支援拠点として、地域全体で子育てを支援するための基盤づくりを目標に様々な事業を行っている。
	デジタルサイネージ	液晶やLEDディスプレイなどの電子表示機器を使って、情報を発信するシステム。
	病児保育	病気及び病気回復期のため保育園や学校等に通うことができない乳幼児・児童を、保護者が家庭で保育できないとき、病院・診療所等に付設された専用スペースで預かる制度。
	ファミリー・サポート・センター	地域の中で、「子育てのお手伝いをしたい人」と「子育ての手助けがほしい人」が会員になって、育児の相互援助活動を行っている。
	まち旅博覧会	久留米に暮らす人々が、普段から慣れ親しんだ地元の地域資源(自然や農業、伝統工芸、歴史遺産、食文化など)を活かして、自らが訪れる人をもてなす体験交流型観光プログラム。
幼児教育研究所	幼児等の保育等に関する調査・研究や幼保小の連携推進、関係者の研修、幼児等の発達支援に関すること(相談・訓練・療育等)などを実施している。	